

令和5年度第1回遠野テレビ放送番組審議会議事録

遠野テレビ放送番組審議会

会議名称	令和5年度第1回遠野テレビ放送番組審議会			
開催日時	令和5年6月28日（水）午後1時30分～午後2時50分			
会 場	遠野市役所とびあ庁舎 大会議室			
出席委員	会 長	菊池 武彦	委 員	菊池 タキ
	副会長	石直 亮彦	委 員	立花 和子
	委 員	松田 奈美江	委 員	小笠原 康友
	委 員	千葉 眞由美	委 員	中村 孝子
	委 員	小笠原 晃	委 員	菊池 崇
欠席委員	委 員	菊池 豊	委 員	菊池 保夫
有線テレビジョン放送施設者・放送事業者	市長 多田 一彦 総務企画部長 鈴木 英呂			
事務局	情報推進課	課 長	濱田 卓也	
		課長補佐	佐々木 利幸	
		主 任	菊池 陽一朗	
	遠野テレビ	代表取締役専務	佐々木 浩章	
		総務グループマネージャー	佐々木 啓	
		報道制作グループマネージャー	菊池 裕	
		技術営業グループマネージャー	伊藤 賢一	

会議の経過及び審議結果

1 開 会（総務企画部長）

それでは、只今から、遠野テレビ放送番組審議会を開会いたします。

2 市長挨拶（市長）

新型コロナウイルス感染症が5月に5類に移行したことで、これまでの様々な制限が緩和され、活動的な情報をお伝えできるようになります。

時代はデジタルトランスフォーメーション、5月27日、遠野テレビが一日市通りにDXの推進拠点をオープンさせました。「D-Base kacomu」いう名前です。

センスのあるネーミングだと気に入っていますが、これは、本市が昨年度策定した遠野市DX推進実施計画に搭載しているデジタル体験センターを1年前倒しで設置した形になります。ここを活用した様々な取組に期待しています。

遠野テレビは、これからもおもしろくなければならぬし、発信力を強みとして、経済にも地域づくりにも通ずる取組をしていく必要があるため、オリンピック種目となるeスポーツについても挑戦していくことになります。夏休み、何かのイベントの際には、人がたくさん訪れるという期待があると同時に、なかなか利用ができないという苦情も寄せられるのではと考えたりしております。

遠野テレビがもっと自由にクリエイティブになっていくことによって、遠野市の活性化につながると考えておりますので、本日は皆様からさらに躍進できるようなご意見をいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

3 議長選出

遠野市ケーブルテレビジョン放送施設条例第40条第4項の規定に基づき、菊池会長を議長に選出

4 会議成立の報告

議長： それでは会議成立の報告について事務局から報告願います。

事務局： 委員 12 名中、本日の出席委員は 10 名です。遠野市ケーブルテレビジョン放送施設条例第 41 条第 2 項の規定により、過半数以上の委員に出席いただいておりますので、本日の審議会が成立していることをご報告します。

5 報告

議長： 次に、報告に入ります。事務局から説明をお願いします。

※佐々木情報推進課長補佐が、資料の内容を一括説明。

(1) 遠野テレビ自主放送番組の放送実績について

(2) その他報告事項

停波等の事故 1 件を報告。

発生日時 令和 5 年 3 月 3 日(金) 8 時 00 分頃～10 時 55 分頃

原因 遠野テレビヘッドエンド機器の故障

詳細 STB 利用世帯について地上波及び自主放送が停波

影響世帯 市内全域 5,819 世帯

議長： ただいま事務局より報告がありました。質問ありませんか。

千葉真由美委員：

STB 利用とはどのような意味ですか。

事務局： テレビの下に設置しているセットトップボックスという機器を、略して STB と呼んでいます。この機器を介すことで、地上波と自主放送のほか BS、CS の多チャンネルが視聴できる仕組みになっています。今回は、STB を経由して地上波放送を観る場合において障害がございました。入力切替で地上波放送を選択すると地上波放送を視聴することができたため、STB 入力になっていた方には切替をお願いしました。地上波放送を視聴する際には、同じチャンネルであっても、テレビ側で直接入力できるものと STB を介して入力できるものと 2 種類の仕組みになっておりまして、STB の機械を介した場合において、受信障害が発生したということになります。

議長： その他ありませんか。無いようですので、最後にまとめて質問を受け付けることもできますので進めて参ります。

6 審議

(1) 遠野テレビ自主企画番組（試写）

議長： 次に、審議に入ります。審議項目として、遠野テレビ自主企画番組の試写があります。新たな番組企画として制作した、自家生産で提供黒毛和牛をより身近に「焼肉ホルモン 彦政」、オープン室内ゴルフ場「インドアゴルフゼロス」の 2 つの番組を試写いただき、委員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。

制作側の意図について、遠野テレビから説明していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

菊池報道制作グループマネージャー：

本日皆様にご審議いただく 2 つのコンテンツですが、こちらはお店紹介ということで、2 月から取り組み始めたニュースの中のコンテンツです。

実は、これまでお店紹介というものは、公平性の観点からなかなか踏み出せずにいましたが、審議会での皆様のご意見、産業まつりでの視聴者のアンケート結果等を踏まえ、視聴者が必要としている情報を発信しようということで、新しい取組を始めたものになります。

この 2 つのお店ですが、1 つは自家生産で黒毛和牛を提供する焼肉店、

もう1つが、県内でも珍しいシミュレーションゴルフの店舗となっております。新規で営業を始めた2店舗になりますが、今後は新しいお店に限らず、特色ある取組を行っているお店をどんどん取り上げ、事業者の皆様が頑張っている姿をとのおタイム内でどんどん紹介していきたいと思っております。本日は2店舗の映像について皆様からご意見をいただき、今後さらに良い番組を制作していきたいと考えております。

《遠野テレビ自主制作番組を視聴》

議長： 視聴した自主制作番組について、各委員から放送についての感想や意見についてご発言いただきます。

また、遠野テレビを日頃ご覧になっていると思いますので、視聴してのご意見等も併せていただければと思います。

それでは、順番にご意見いただきます。

松田奈美江委員：

先ほどお話があったように、公平性から店舗を取り上げてこなかったと薄々は感じていましたが、市内の経営者側からするとお店を紹介してもらえることは嬉しく感じるはずです。遠野テレビ以外では、飲食店が取り上げられているのを目にすることがあります。お店を構えている側としては、たくさんあるので紹介するお店を決めるのが大変だと思いますが、これからも取り上げていただきたいと思います。行ってみたい気持ちがあっても一歩を踏み出せない方もいますので、お店の様子や思いが伝わることによって足を運ぶきっかけになると思います。飲食店以外にも頑張っているお店がたくさんあって、インスタで情報発信するなど、それぞれの工夫でアピールはしていますが、地元テレビ局に取り上げていただくことによって、やる気をもっと出ると思います。

6月から新しく始まった、地域おこし協力隊の方と対談する新番組では、どのような想いで遠野に来たのか、道の駅のリニューアルイベントにどのように関わっていたのかを知ることができ、様々なことが繋がりました。地域おこし協力隊が感じる遠野の魅力についてじっくり聞くことができるコーナーだと思いますので、これからも視聴したいと思いました。

千葉真由美委員：

やっぱりお店を扱うことは結構ハードルがあった気がしますが、身近に感じることでとても良かったと思います。新聞で、遠野の新しいお店や名所が取り上げられているのを見ながら、遠野テレビでも同じよう取り上げられないかなと感じていました。場所の説明とか、お店の詳しい内容とかがあれば、もっとお店に行きやすくなると思います。

県内各地のケーブルテレビ番組も参考にして、それぞれ特徴があると思いますが、こういう映し方がいいなとか、撮り方をもっと柔軟に工夫すると、おもしろい番組ができると思います。

小笠原晃委員：

新しい形でお店の紹介をするコーナーができて良かったと思います。どちらも熱い思いがあっただけで、お店を始めたということがテレビを通じて伝わりました。作る方は大変かもしれませんが、毎週どこか1店舗を定例的に取り上げ、名前をつけてコーナー化すればテレビの放送を楽しみにする人が増えると思いました。どちらが良いのかやってみないとわかりませんが、レポート形式のほうが親しみやすいので試して欲しいと思います。例えば、お店を紹介した最後に、視聴者プレゼントとして食事券3000円分をプレゼントするような企画もあると、視聴者が番組を楽しみにするきっかけになると思います。

石直亮彦委員：

コーナーの始まりを伝えるために、特別なタイトルをつけて音楽を流すのもおもしろいと思いました。焼肉店の紹介は、開店準備しか映っていませんでしたので、実際に焼いて食べている映像があれば、もっと活気あふれる紹介ができたと思います。それとやはり、地図とか、開店時間、おすすめ商品の値段ぐらひは紹介した方が良いでしょう。ゴルフ店の紹介は、シミュレーター型の新しい形態なので、入店から実際にプレーするまでの流れや、シミュレーターで実演解説するなど、詳しい紹介が必要だと思いました。コーナーの終わりには、お店のスタッフが手を振るような映像があると親しみを感じてもらえると思います。

他の番組ですが、釜石のケーブルテレビが「釣るテレ」を制作していますので、遠野でも誰か名人にお願いして、溪流釣り、山菜・キノコ採りなどのアウトドア番組を制作していただきたいです。

菊池タキ委員：

値段を安く提供していると言われても実際の値段が表示されない伝わらないので、オーナーから値段表示できるメニューを聞くなりし、何品か商品の値段を紹介したほうが分かりやすいと思いました。お店のインタビューでは、マスクを外した状態で顔を撮影するべきだったと思います。

他の番組ですが、市議会の様子をテレビで視聴できるのは良いことだと感じています。市議会議員がどのような考えしているのか知ることができるので議会中継は助かっています。お願いになりますが、遠野の子ども達が様々なスポーツで活躍していますので、頑張っている子ども達を映していただきたいと思います。

小笠原康友委員：

焼肉店のオーナーから低価格の説明がありましたが、商品の値段説明が無かったため、値段が画面に表示されて安いことが伝われば、視聴者が足を運ぶきっかけになると思いました。焼肉も、ゴルフも、利用者目線で情報を伝えることが大事だと思います。

議会中継は、視聴することでいろいろ判断できますし、緊張感ある議会になります。

立花和子委員：

地域を知りたいという市民の声を反映した番組だと感じました。新しいお店がどういうところなのか興味がありますので、取り上げていただいたことをうれしく思います。ただ1度取り上げただけだと忘れ去られてしまいますので、1年後にまた取り上げるのも良いと思います。遠野ふるさと村が平成8年にオープンした時に、遠野の文化と伝統を守る人を表した「まぶりっと」という言葉を作りましたが、なかなか覚えていただくことができませんでした。知られていないということもあり、遠野テレビで「まぶりっと通信」を制作して何年間か放送してもらったところ、徐々に認知され、いろんな方から声をかけていただけるようになりました。テレビによる宣伝効果は影響があり、営業活動にも使うことができますので継続して放送して欲しいです。例えば、遠野市で予算化したものを、実際にこういった建物が造られたとか、このようなサービスが始まったとか、そのような紹介にも使えると思います。1回だけではなく、その後どうなっているのか継続して放送してもらおうことで、視聴者から意見が寄せられ、市民レベルも上がると思います。

中村孝子委員：

「焼肉ホルモン彦政」の方では、自家生産した和牛を提供していて、その想いが伝わりました。お店を運営するっていうのは、やはり正直な話、難しいことだと思います。本来は、美味しくてもまた行きたくなるようなお

店を紹介してもらいたい考えを持っていますが、やはりお店を出したからには、お客様がたくさん来てお店が繁盛して欲しいとの願いもあります。お店の繁盛につながるように、スタッフを映すとか宣伝方法を工夫して放送していただきたいと思いました。「インドアゴルフゼロス」は、私はゴルフが全くわからないのですが、シミュレーションという新たな形でゴルフに親しみを持てるきっかけにつながるので、紹介することは良いことだと思います。

その他の番組では、とおのタイムが始まる前のアイアンクッキングを観ていて、先生とスタッフの掛け合いが素朴で気に入っています。

菊池崇委員：

お店紹介という公平性の観点からなかなか手をつけられなかった部分を放送できたことは、一歩前進して良いことだと思います。若者が市内にお店を構え、市外からもお客を呼び込んでやっていきたいという信念を持って経営に乗り出しているのを応援したい気持ちになりました。ただ、明確な基準も必要になると思います。お店の宣伝となれば、相応のお金が発生することは当たり前のことと理解していますが、市民目線で必要とするものであれば、このように無償で市民に情報提供する形も必要だと思います。

議会中継の話が出ましたが、流していただけるのはありがたいですが、放送時間が非常に長く全部視聴できる人は限られています。市議会の要点をかつまんでニュース中に放送いただく方法は分かりやすいと感じていますので、さらに充実するように議会の情報提供について考えていただきたいです。スポーツに関しては、市内の子ども達も本当に頑張っています。過去に中継体の野球中継がありましたが、公平性は大事ですが、映像としてただ流すのではなく、関わっている人達の想いが伝わるような伝え方があると思います。やはり伝えるということが大切だと思いますので、考えていただけるとありがたいです。

議 長：委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

他に何かご意見ありませんか。無いようですので、(1)遠野テレビ自主企画番組に関する審議を終了します。

(2) その他

議 長：事務局から(2)その他審議事項について何かありますか。

事務局：ありません。

議 長：以上で審議を終了し、次第に沿って進めて参ります。

7 その他

議 長：事務局からその他について何かありますか。

事務局：中心市街地の新しい拠点、「D-Base kacomu」の取組について、遠野テレビからご紹介させていただきたいと思います。PR用に作成したCMもご覧いただいた後に、皆様からご意見を頂戴したいと思います。

佐々木代表取締役専務：

説明に入る前に、皆様からご意見いただきました内容について、お答えしたいと思います。お店紹介の定期コーナー化については、その方向で検討を進めております。レポート形式については、遠野テレビ社員が1人で全て対応している状況から、誰か別なリポーターの確保も検討したいと思います。

「街ぶら」で遠野さくらまつりを収録した際には、市民の方にリポーターとして出演いただきましたので、市民の方とコラボしながら番組の充実に向けた努力をしたいと思います。それから、視聴者プレゼントという話がありましたが、商品バランスなど検討すべき点もあるため時間をいただきたいと思

います。釣り番組などの提案もありましたが、皆様の貴重なご意見を参考にしながら取り組みたいと思います。スポーツの伝え方も勉強しながら検討し、皆様の意見を踏まえ良い方向に進めていきたいと思っています。

≪「D-Base kacomu」の取組を資料で説明し、CM動画を視聴。≫

補足ですが、前回の番組審議会において、地域おこし協力隊など若い人達の活動をもっと知りたいということでしたので、「まちスタTube」の番組を新たに制作し、第2、第4木曜日の放送を予定しておりますので、今後の放送を楽しみにしていただきたいと思っています。

議長：ただいまの説明について、何かご意見等ありませんか。

石直亮彦委員：

「D-Base kacomu」がオープンしましたが、正直、一般の人達は何をしているのか分からない状況にあると思います。オープンしたばかりでこれから育てていくことになるとは思いますが、実際にはどのように運営をされていますか。

佐々木代表取締役専務：

メインはサテライトスタジオですので、基本的には一般の方が立ち寄って何かできるということではないです。カフェのような形式も検討しましたが、人件費、改修費など身の丈以上になるため、強みの情報発信に特化することにしました。サテライトスタジオとして番組の枠を編成し、取材、編集、収録等で利用することを軸にしています。2つ目は、中心市街地にある拠点であることから、夏祭りなど商店街の催しがある際に、デジタル関係のイベントを連携して開催し、徐々に市民の方々に理解いただけるように努めていきます。

テレビ局舎内に様々な方々を呼んでの番組制作はなかなか難しいため、サテライトスタジオとして番組制作、ネット配信を進めていきたいと思っています。

議長：他にありませんか。無いようですので、議題をすべて終了します。

ご協力ありがとうございました。

8 講評（市長）

審議会のご意見は、専門的で鋭いところを突いていると認識しています。柔軟な撮影、お店の価格やおすすめ商品等の詳細な見せ方など、皆様ならではの視点でご意見いただきました。お店の状況を確認するため1年後に取材するという発想もユニークで、誘客につながるおもしろい番組になると感じました。新たにお店紹介について一步を踏み出しましたので、公平性という観点についても、将来的に全部の店に取材に行くので待っていてくださいというスタンスで理解いただきたいと思っています。アウトドア番組やりたいですね。私も前からガイドをやりたいと思っていましたので、自転車のガイドをやらせてもらうことになりました。そのうちに沢登りとか、キャンプもやりたいですね。この番組審議会をキャンプでやるとか想像しながら楽しく聞かせていただきました。皆様貴重なご意見ありがとうございました。

9 開会（総務企画部長）

以上で、第1回遠野テレビ放送番組審議会を閉会させていただきます。

本日はありがとうございました。